

The 21st Century Challenges in Living Abroad Program, Chinese (CLP-C)
九州大学全学協力事業基金による国際交流事業「短期語学留学事業」募集要項

1. 趣 旨

本学学生が将来的な留学のために、短期間の異文化体験を通して留学への不安を解消し、かつ、語学力の向上を図ることを目的として、現地語学研修を実施する。

2. 応募資格

九州大学の正規課程の学生で中国、台湾への交換留学を検討中の者。(すでにこのプログラム(CLP-C)で派遣された者を除く。)

3. 派遣先大学及び募集人員

台湾師範大学(台北市) 18~20名程度

4. 語学研修期間

2020年3月1日(日)~3月21日(土)(予定)の3週間 *研修期間には出発日、帰国日を含む

5. 研修内容

語学研修、異文化体験活動、校外見学等に参加する。(異文化体験活動は、書道、中国画等々、年度により内容が異なる。)

派遣先大学で研修修了と認められた者は、帰国後に本学中国語教員による面接等の審査に合格することにより基幹教育の言語文化科目単位(R認定)を取得することができる。いずれの科目の単位になるかは、審査を行う中国語教員が決定する。ただし、3月末で学部課程を卒業予定の学生および大学院生については、単位認定の対象外とする。

なお、中国語教員による帰国後の審査は、単位不要の者も含む派遣学生全員が受けなければならない。

6. 大学の支援内容と自己負担内容(予定)、JASSO奨学金

学費・宿泊費は九州大学負担。

最終成績および出欠状況により、派遣先大学が修了と認めない場合、或いは派遣先大学が修了と認めても帰国後の中国語教員による審査に合格しない場合は、九州大学が負担した学費・宿泊費の返納を求められることがある。

宿舎(キャンパス内の学生寮)は一部屋(シャワー・トイレ付き、2~3人部屋)に居住。他大学の学生等と同室の可能性あり。

その他の必要経費は自己負担。(例:渡航費・海外旅行保険・危機管理サービス費用で例年7~9万円、その他パスポート取得料(未取得の場合)、レンタル携帯電話費用、食費等々。)

航空券と海外旅行保険・危機管理サービス、レンタル携帯電話は九州大学が指定する。

所定の対象資格、成績基準、家計基準を満たす派遣者にはJASSO奨学金(6万円)が給付される。

7. 申請の方法と期限

申請書類:様式A,B,CおよびGPA付き成績通知書(または成績証明書)(和文)

提出方法:申請者が申請書類(様式A、C)を所属学部等の学生担当係(1年生はセンター1号館2Fの学生支援係)が指定する期日までに、同担当係あて提出する。GPA付き成績証明書は、申請者が同担当係に発行と直接送付を依頼する。加えて、申請者が申請書類(様式B)による推薦を言語文化研究院の語学担当の教員に依頼し、教員から直接、国際部留学課へEmail送付していただく。(送付先アドレスは様式中に記載)

- 申請書類一式はいずれもデータファイルにより学生担当係の指定するアドレスへ提出すること。
- 成績証明書は学生担当係に発行を依頼すること。(同係より他の申請書類データとあわせて直接国際部留学課へ提出していただくため。)
- 大学院生は、学部時代の成績通知書(または成績証明書)も必要。他大学の場合は評価基準も必要。(証明書に記載の無い場合は申請者が評価基準を入手すること。)
- 中国語能力に関する検定資格や級を有する者、中国語コンテスト等の受賞歴を有する者は証書等(写)もPDFファイルにして添付すること。

注意 申請締切は所属学部/学府毎に異なります!

2019年度派遣の申請締切: **2019年10月上旬**(各学部・学府の学生担当係は、全員分の申請書を取りまとめて10月18日(金)までに国際部留学課へ提出するため、**10月18日より前に当該学部/学府の締切が設定されます**。注意して予め確認してください。)

(次ページにつづく)

8. 選考

提出された申請書類にもとづき、選考のうえ派遣候補者を決定する。
なお、必要に応じて面接を実施することがある。

9. 報告書の提出

本事業により派遣された学生は、所定の期限内に報告書一式を提出する。

10. 参加後の義務

CLP 経験者が SALC、ウエストゾーン、イーストゾーンに昼休みで週一回開催する中国語ランゲージテーブルを引き継ぎ主催する。九大生と中国語圏学生との交流や中国語イベントにも協力する。
次回以降の派遣前オリエンテーションに協力する。
留学課の要請に応じて、各種留学説明会において体験発表や質疑応答を行う。

(注) 予算や受入大学の都合により、事業内容に変更が生じることがある。

参加者の個人情報の一部(所属、学年、氏名、性別、全学協力事業基金による支援および台湾師範大学からの支援の受給内容等)は、派遣先機関である国立台湾師範大学および台湾政府に提供される。